

(案)

富里市子ども子育て環境整備事業の基本的な考え方

平成 27 年 1 月
千葉県富里市

第1章 基本計画の策定にあたって

1 基本的な考え方

我が国は、人口減少や少子高齢化の進行により、子育て環境は大きく変化しています。また、核家族化が進み、子育ての孤立化から不安を抱く家庭も少なくありません。

女性の就労ニーズは高いにもかかわらず、幼児期の教育・保育施設の整備状況、子育て家庭を地域で支える環境づくり、待機児童の解消等、仕事と子育てを両立できる環境が不十分であることが、少子化の要因のひとつであると指摘されています。

幼児期の教育を重視する家庭も少なくなく、保育機能と教育機能を併せ持つ「認定こども園」の設置が推進されており、質の高い教育ニーズと保育ニーズの双方に応えることが、行政に求められています。また、地域においては、子どもを欲しいと思う人が子どもを持ち、子育てがしやすい環境の中で、子どもや子どものいる家庭を地域全体が支える仕組みの構築が求められています。

本市では、これらの市民ニーズに対応した子育て環境の充実を図るため、子育てを取り巻く新たな課題に積極的に取り組み、本市のすべての子どもたちが健やかに成長することができるよう、認定こども園及びこども館の建設に向けて、基本コンセプトや導入機能など、施設の基本的な枠組みを明らかにするため、本計画を策定するものです。

2 基本的事項

(1) 本計画の位置付け

本事業は、「富里市総合計画第二次実施計画」に基づく、市民ニーズに対応した質の高い就学前児童の学校教育・保育の総合的な提供及び地域における子育て支援の充実を図るために実施するものです。

(2) 施設の概要

① こども館

ア 建設予定地

市立の葉山保育園と都市公園が集積している環境を活かした学校給食センター第一調理場跡地

イ 建設予定構造

木造平屋建 延床面積 約 5 0 0 m²程度

ウ 建設予定年度

平成 2 7 年度から平成 2 8 年度

② 向台こども園

ア 建設予定地

市立の向台幼稚園敷地内

イ 建設予定構造

木造平屋建

延床面積 約 4 0 0 m²程度

ウ 建設予定年度

平成 2 7 年度から平成 2 8 年度

③ 葉山保育園周辺整備

ア 整備予定地

市立の葉山保育園に隣接する葉山公園及び学校給食センター第一調理場跡地

イ 整備内容

葉山保育園駐車場 約 1, 0 0 0 m²

葉山保育園未満児専用園庭 2 0 0 m²

都市公園（移設） 約 1, 2 6 0 m²

歩道（W = 2. 5 m）

ウ 建設予定年度

平成 2 7 年度

3 現状と課題

(1) 子育て支援センター事業の状況

現在、本市では、葉山保育園に子育て支援センターを併設し、センター型の子育て支援拠点施設として事業を展開しています。

当センターは、年間延べ約1万人の親子が利用され、市民ニーズの高い施設となっていますが、施設規模が小さいため収容人数に限りがあり、年齢ごとに利用日を設定し運営しています。

こうしたことから、市民からはいつでも自由に利用できる施設にしてほしいといった要望が多く寄せられています。

【H25年度事業実績】

育児相談	138人	
育児講座	215人	
園庭開放，センター室解放	7,985人	
移動支援センター	718人	
サークル支援	417人	合計 延べ9,473人

(2) 一時保育事業の状況

本市において子育て支援センター事業に次いで人気の高い事業です。現在、本市では100名を超える待機児童が発生しており、その受け皿として一時保育を利用される方が急増しております。市内認可保育園4園でそれぞれ実施していますが、市民ニーズに十分対応できていない状況にあります。

【H25年度事業実績】

(葉山保育園)

年間利用延べ人数	706人
保育時間	月～金 午前8時30分～午後4時30分
定員	一日あたり5名程度

(3) 放課後児童クラブの状況

就学前の保育ニーズが高まる中、小学校入学後の放課後における子どもたちの居場所づくりに対するニーズも高くなっています。

こども館の建設を予定している当地区は、富里南小学校区に位置し、当地区の子どもたちはスクールバスにより通学をしています。富里南学童クラブでは、近年のニーズの高まりにより

毎年待機児童が発生している状況です。また、将来的に洗心小学校の統合計画もあり、さらに放課後児童クラブに対するニーズが高くなることが予測されています。

【H25年度事業実績】

最大入所児童数 50人

(4) 待機児童の状況

近年の保育ニーズの高まりにより、100名を超える待機児童が発生しています。今後は人口減少が見込まれますが、ますます女性の社会進出等が進み、保育ニーズはさらに高くなり、さらに待機児童が増加することが予測されていることから、一日も早く解消することが急務となっています。

【H25年度事業実績】

H25年度末 97人

(0歳 - 40人,1歳 - 22人,2歳 - 18人,3歳 - 14人,4歳 - 3人)

(5) 葉山保育園の状況

定員100名の公立保育園として運営しておりますが、近年の保育ニーズの高まりにより、現在は120名近い児童を受け入れています。公立施設ということもあり、保育園の中でも市民ニーズが最も高く、定員の拡充が急務となっています。

また、当保育園周辺は歩道が無いため、受入れ児童の増加に伴い、保護者の送迎時は大変危険な状況となっています。警備員を配置して対応していますが、抜本的な改善には至っていないため、駐車場の確保及び歩行者の安全対策が急務となっています。

第2章 施設の目指す姿

1 基本コンセプト

核家族化が進む昨今、家庭で子育てをする方が、子育てに対して不安や孤立感を抱き、産後うつや育児ノイローゼ等の問題を抱えてしまうケースが増えています。

本市では、「未来をひらく子どもたちのために、何よりも子どもの笑顔を大切にしたい」という思いを基本理念に、地域に住む家庭が安心して出産を迎え、出産後も育児に関する悩みを共有できる仲間

を見つけられる場所を提供してまいります。また、子どもたちが健やかに成長するための安全で健全な遊びの場として、地域に住む大人がボランティアとして子どもの成長に関わり、地域ぐるみで子育てをしていく場を提供するとともに、幼児期における質の高い学校教育・保育を総合的に提供し、すべての子育て家庭が安心して子どもを育てられる地域の実現に向けて“ゆめ、きぼう、よろこび”を創造し、着実に一步ずつ実現するための基本コンセプトを次のとおりに定めます。

(1) こども館

こども館のコンセプトにつきましては、この度の子ども・子育て支援新制度の一つの柱であります、地域における子育て支援事業の充実を図ることを目的に、市民ニーズの高い、「子育て支援センター事業」、「一時保育事業」、「学童保育事業」の機能を兼ね備えた施設として、子どもたちが様々な経験をとおして、より豊かな遊びと人間関係を展開できるよう、また、地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を実施し、子育ての孤立感、負担感の解消を図り、すべての子育て家庭を地域で支える子育て支援の拠点づくりを目指します。

【コンセプト】

「ゆめ、きぼう、よろこびの創造」

- 子どもたちの笑顔あふれる施設
- 安心して子育てができる施設
- 地域に求められる施設

(2) 向台こども園

現在の向台幼稚園の基本目標を継承し、幼児期における質の高い学校教育・保育を総合的に提供してまいります。

【コンセプト】

- あいさつのできる子を育てる施設
- 思いやりのある子を育てる施設
- 力いっぱいできる子を育てる施設

(3) 葉山地区子ども子育て支援施設

葉山保育園に隣接した葉山公園を隣接する学校給食センター第一調理場跡地に移転し，葉山保育園の駐車場及び未満児専用園庭を整備して保育園の充実を図ります。また，移設する都市公園については，地域コミュニティーの場として親しみ愛される公園とするとともに，こども館に併設する子育て支援センターの屋外活動の場として活用し，自然を生かした学びが展開できるようにします。また，歩道を整備し，住民が安全で安心して利用できる環境づくりを目指し，地域における子育て支援サービスの充実を図ります。

【コンセプト】

- 利用しやすい施設
- 安心・安全な施設
- 賑わいと触れ合いのある施設

2 基本的な考え方

(1) こども館

基本コンセプトを実現させるために，次の考え方を重視して，地域における子育て支援サービスを提供します。

ア 子どもたちが自由に遊び，学ぶことができる場

子どもたちが自由に伸び伸びと遊ぶことができる環境を整え，子どもたち自身の創意工夫による遊びや学びが展開できるようにします。

イ 子ども同士，保護者同士の交流の場

子どもたちが，世代を超えた仲間と遊ぶことができる場として，また保護者が，子育てに関する相談や情報交換ができるような場としての環境を整え，新しい仲間づくりのできる交流の場を提供します。

ウ 子育て支援の場

子育て情報を提供し，関係機関と連携しながら，子育てに関する相談や援助ができる場を提供します。

エ 子どもたちの活動を地域で支援する子育て支援の拠点の場

子どもたちの活動を支援する，地域における子育て支援の拠点の場を提供します。

(2) 向台こども園

基本コンセプトを実現させるために、次の考え方を重視して、幼児期における質の高い学校教育・保育を総合的に提供します。

ア 絵本の読み聞かせをとおして話を聞ける子の育成

イ 色々な人と一緒に歌うことを楽しみ、園児の元気を地域に広める。

ウ バランスの良い身体発達を促したり、様々な人と交流から社会性・道徳性の芽生えを培い、思いやりのある豊かな心を育む。

(3) 葉山地区子ども子育て支援施設

基本コンセプトを実現させるために、次の考え方を重視して、地域における子育て支援の充実を図ります。

ア 親子が安心して施設を利用できる環境

イ 子どもたちが自由に遊び、学ぶことができる場

ウ 子どもからお年寄りまで、世代を超えた新しい仲間との交流ができる場

3 基本方針

(1) こども館

- ①地域に親しまれる魅力ある施設とするため、必要に応じ民間事業者の活力を生かし、住民が事業に参画できる事業運営を目指します。
- ②地域で子育て支援活動を行う団体への支援を行うとともに、地域と連携した事業の実施を目指します。
- ③子育て支援センター、一時保育、放課後児童クラブが連携した事業の実施を目指します。
- ④子どもの笑顔があふれる場として、安全で安心して遊び学べる場を提供します。
- ⑤すべての子どもたちが、安全で安心して過ごすことができるよう、空間づくりに配慮します。
- ⑥施設を有効に活用し、地域ぐるみで子どもたちと関わるなど、様々なプログラムに対応できるような空間づくりを目指します。
- ⑦来館するすべての方が笑顔になるよう、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等に配慮します。

(2) 向台こども園

- ①幼稚園と保育園の良さを併せ持つこども園として、幼児期における質の高い学校教育と保育を総合的に提供するとともに、幼児期から小・中学校における接続性や統一性をもった子育て支援の実施により、小1プロブレムの解消を図ります。
- ②当地域における子育て支援の拠点となる子育て支援センターを併設し、乳幼児及びその保護者が相互の交流を図り、子育てについての相談、情報の提供、援助などを実施するとともに、在園児と地域の交流を促進します。

(3) 葉山地区子ども子育て支援施設

- ①葉山保育園，こども館，都市公園を利用する方の安全対策として，駐車場及び歩道を整備します。
- ②葉山保育園未満児専用の園庭を設置し，保育の充実を図ります。
- ③お年寄から子どもまで，にぎわいふれあう笑顔のある公園になるよう，バリアフリー化に努めます。

第3章 基本計画の推進にあたって

1 基本計画推進の基本方針

当該基本計画の推進にあたっては、市民が利用しやすい環境を整えるため、高い技術力や経験を持つそのプロジェクトに最も適した設計者を選び、庁内関係部署等と連携しながら、適正なスケジュール管理を行います。

2 計画スケジュール

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 平成26年度 | 富里市子ども子育て環境整備事業基本・実施設計
(～27年度) |
| | 富里市子ども子育て環境整備事業に伴う用地測量 |
| 平成27年度 | 富里市子ども子育て環境整備事業基本・実施設計
(26年度～) |
| | (仮称) こども館建設工事 (～28年度) |
| | (仮称) 向台こども園建設工事 (～28年度) |
| | 葉山地区子ども子育て環境整備工事 |
| 平成28年度 | (仮称) こども館開館 |
| 平成29年度 | (仮称) 向台こども園開園 |